

学校経営方針

京都市立西院小学校

1. 学校教育目標

夢をもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成 ～互いに認め合い、高め合う西院の子～

子どもたちが、夢やあこがれ、目標をしっかりとつことは、自分の目標実現への意欲となり、「自ら学ぶ力」につながる。そして、他者や社会とのかかわりの中で醸成される豊かな人間性や道徳性、協調性を基盤とする「自ら律する力」を高めることで、心豊かにたくましく生きる子どもを育成していきたい。そのために、これまで本校で大切にしてきた人権教育を基盤とし、互いに認め合い、切磋琢磨しながら高め合う子どもの姿をめざし、一人一人の力を大いに発揮できる教育環境を整えていきたい。

2. 目指す学校像 子どもが毎日楽しく通える学校

3. 目指す子ども像

- ・自ら進んで学習する子（知）
- ・自分も友達も大切にする子（徳）
- ・身も心も大切にする子（体）

4. 今年度の重点 言語活動の充実を図り、自分の思いをしっかりと伝え、互いに話し合い、高め合う力を伸ばす。

5. 目指す子ども像の実現に向けて今年度特に力を入れたい取組

次期学習指導要領が公示され、「特別な教科 道徳」の実施（平成30年度）や小学校における「外国語（英語）」の教科化等を控える中、平成29年度は、その円滑な実施に向け、学校行事の見直しを行い、「カリキュラム・マネジメント」の実現を図る重要な準備期間となる。

そこで、各教科及び道徳、総合的な学習の時間において、「主体的・対話的で深い学び」が展開できるよう授業改善に取り組んでいく。その中で、以下の点に特に力を入れて取り組みたい。

（1）道徳教育の充実 ・・「特別な教科 道徳」に向けた評価実践研究を行う。

（2）生活科、総合的な学習の時間における体験活動・探究活動を通じた多様な学習形態（ポスター発表・ポスターツアー発表等）による授業実践を行う。

（3）人権教育を基盤とし、温かな気持ちで人に接することができ、互いに認め合える子ども同士の関係づくりをする。

（授業のユニバーサルデザイン化、人的環境・物的環境の整備）

（4）「西院の子 心でつなぐ5つのやくそく」の実践



6. 目指す教職員像 教育者としての責任を自覚し、確かなビジョンと力量を持つ教職員